



第3次上尾市環境基本計画

概要版



上尾市ゼロカーボンシティ宣言

国際社会の一員として、カーボンニュートラルの実現を目指す責任があり、環境負荷の少ない、持続可能社会の実現に向けて取り組んでまいります。

望ましい環境像

- 自然とのふれあいや良好な景観を大切にしている
- 安全で安心して暮らせるまちを形成している
- 低炭素かつ資源循環型社会の形成に市民・事業者・行政一体で取り組んでいる
- 持続可能なまち【あげお】を次世代へとつないでいる

計画策定の背景

2015年3月に策定した「第2次上尾市環境基本計画（改訂版）」が2020（令和2）年度をもって計画期間を満了することから、「第3次上尾市環境基本計画」を策定しました。

国においては、2015年10月の「持続可能な開発目標（SDGs）」を中核とする「持続可能な開発のための2030アジェンダ」採択や、同年12月の「パリ協定」合意（COP21）など、時代の転換点を迎えたとして、新たな文明社会を目指し、大きく考え方を転換していくことが必要としています。

計画期間

2021（令和3）年度～2030（令和12）年度





施策体系

計画の推進にあたり、現状把握や進捗状況の把握を行うため、環境分野ごとに指標を設定します。望ましい環境像の具現化に向けて、計画の進捗状況を把握するため、計画指標を設定します。施策の進捗状況を把握するため、業務指標を設定し、業務指標の進捗管理を通じて、計画指標の目標値達成を目指します。

業務指標

緑地面積	緑地率	自然観察会の参加者数（累計）（生物多様性への取組）	特定外来生物の駆除数（アライグマ）		
自然学習館におけるイベントの参加率	自然観察会の参加者数（累計）（自然とのふれあい）	農業体験教室の開催数（作付け・収穫）			
緑地面積	緑地率	森林環境譲与税基金積立額	協定締結公園数	樹木管理公園数	
主要河川パトロール回数	水路等パトロール回数	河川における不法投棄の件数			
立入事業所件数	アイドリングストップ指導率	ぐるっとくんの年間利用者数			
河川調査地点数	工場・事業場の排水基準の適合率	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換件数	公共下水道の普及率		
道路騒音・振動にかかる要請限度の達成率	工業地域及び準工業地域における地区計画策定数（累計）				
悪臭発生源への指導実施率	ダイオキシン類等の環境基準の達成状況（大気）	野焼きパトロール回数			
都市公園の面積	市民1人当たりの都市公園面積	可住地面積当たりの公園面積の割合	協定締結公園数	改修を行った公園箇所数	
市民農園利用者数	新規市民農園開設数（累計）	農業従事者1人当たりの経営耕地面積	全農地に占める遊休農地面積の割合	学校給食における上尾市産米使用回数	
クリーン上尾運動参加者一人当たりごみ回収量	ごみ散乱防止ネットの配布件数				
地区計画策定数(累計)	無電柱化整備延長	違反屋外広告物看板の撤去枚数	撤去した自転車台数		
ごみに関する出前講座受講者数（累計）	廃棄物の最終処分割合				
地域リサイクル活動による資源回収割合	リサイクル品の持ち込み数				
世帯当たりの太陽光発電設置割合	太陽熱を利用した温水機器等がある住宅の割合	太陽光を利用した発電機器がある住宅の割合	省エネに関する出前講座受講者数	省エネ対策推進奨励金申請件数（省エネ設備）	省エネ対策推進奨励金申請件数（次世代自動車）
省エネ対策推進奨励金申請件数（その他省エネ対策）	市の公共施設および事務事業からの温室効果ガスの削減率	市の公共施設および事務事業からの温室効果ガス排出量	ぐるっとくんの年間利用者数	自転車レーンの整備延長	
雨水貯留タンク設置補助件数	イツモ防災講座（マイタイムラインを含む）受講者数				
環境推進協議会学習会参加者数	市内小中学校での環境パネルの展示回数	温暖化対策講座実施校数	環境学習講座参加者数		
あげお環境賞受賞団体の紹介件数	クリーン上尾運動参加人数				

望ましい環境像

本市では、「AGEO（あげお）」と「ECO（エコ）」を合体させ、上尾市のエコ（環境負荷低減や自然保護にかかわる活動）に関わるすべての活動を総称して「AGECO style（あげこスタイル）」と提唱し、エコ活動を推進しています。

本計画においては、本市の環境への取組のあるべき姿を設定し、その実現に向けたさまざまな「AGECO style（あげこスタイル）」の取組を推進します。

【望ましい環境像】

- 自然とのふれあいや良好な景観を大切にしている
- 安全で安心して暮らせるまちを形成している
- 低炭素かつ資源循環型社会の形成に市民・事業者・行政一体で取り組んでいる
- 持続可能なまち【あげお】を次世代へとつないでいる

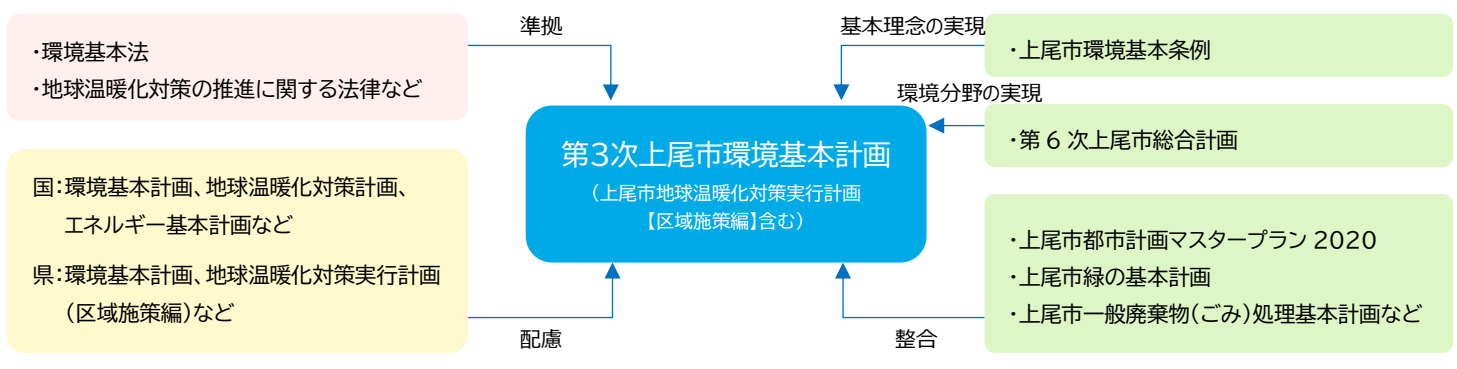


計画の位置づけ

本計画は、上尾市環境基本条例第8条に基づき策定するもので、環境に関する市の施策の方向性を示すとともに、市民・事業者が環境保全に取り組むための指針を明示するものです。

本計画の策定にあたっては、国や県の環境基本計画との関連性に配慮するとともに、市が策定するその他の環境に関連する計画や各種事業計画など、各施策の内容についても整合を図ります。

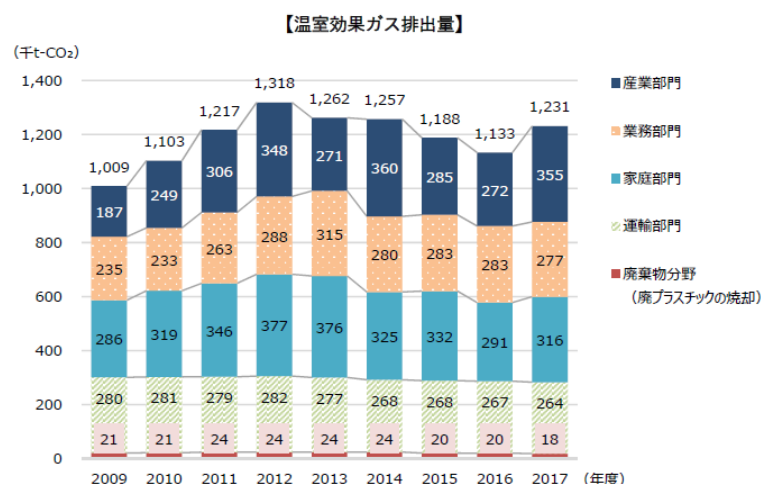
また、本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律第19条第2項の規定に基づき、「上尾市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を包含した計画として位置づけます。



本市の温室効果ガス排出量

本市の温室効果ガス排出量の経年変化についてみると、2009年度から2012年度にかけて増加し、2013年度以降は減少傾向にありましたが、2017年度では上昇しています。

2017年度は製造品出荷額や世帯数が増加しており、産業部門や家庭部門におけるエネルギー消費量が増加したことが、温室効果ガス排出量の増加につながったものと考えられます。

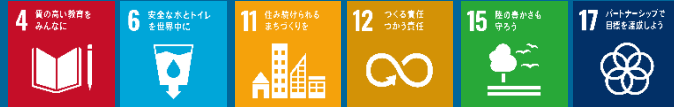


(出典) 埼玉県資料

施策の展開

自然環境分野

環境目標 自然との共生



計画指標	2019 年度実績値	2030 年度目標値
自然環境の住民満足度	16.5%	25%
施策		
〈1〉生物多様性への取組	生物多様性の保全と生態系サービスの持続可能な利用に向けて、生物多様性を「知る」、生き物の生息・生育環境を「守り、育てる」などの施策を展開し、樹林地、水辺、河川などの良好な自然環境を保全するとともに、上尾市本来の自然の豊かさを将来の世代に伝えていきます。	
〈2〉自然とのふれあいの促進	自然観察会や農業体験といった市民が自然とふれあうことができる機会を創出するとともに、市民の参加を促進できる魅力的な施策の実施に努めます。 また、環境活動の支援や環境イベントの共同開催など、市民団体や事業者との協働により、自然とのふれあいを促進します。	
〈3〉緑地の保全・創出	身近な緑は、市民に安らぎと憩いの場を提供するとともに、ヒートアイランド現象への対策としても有効です。市内に残された貴重な緑地を保全するため、特別緑地保全地区の指定や緑の公有地化を推進するとともに、民間の緑地・樹林の維持管理に協力します。 また、計画的な公園の整備や緑化指導により、地域の緑の創出を図ります。	
〈4〉水辺環境の保全・整備	水辺環境に地域の方が関心を持ち、地域の顔となる身近な水辺環境を再生・創造するため、河川や池、農業用排水路などの水辺環境の維持管理を行います。 また、自然体験等の環境教育の場として位置付けるとともに、地域の活性化と積極的な水辺環境保全活動が得られるよう推進します。	

都市・生活環境分野

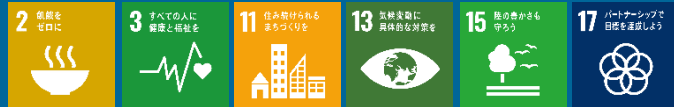
環境目標 公害の防止



計画指標	2019 年度実績値	2030 年度目標値
都市・生活環境の住民満足度	29.9%	35%
施策		
〈5〉大気汚染の防止	大気汚染の原因となる揮発性有機化合物（VOC）や浮遊粒子状物質※の発生を抑制するため、市内の大気の状態を継続して把握するとともに、市民・事業者への意識啓発に努めます。	
〈6〉水質汚濁の防止	市内の河川や地下水の水質汚濁の状態を継続して把握するとともに、市民・事業者への意識啓発を実施するなど、水質浄化対策を推進します。	
〈7〉騒音・振動の防止	騒音・振動の被害を防止するため、市内の道路交通騒音・振動の状態を継続して把握するとともに、市民・事業者に対し、騒音・振動の発生抑制について啓発・指導を行います。	
〈8〉その他の公害の防止	悪臭、地盤沈下、地下水・土壌汚染等の状態を継続して把握するとともに、市民・事業者に対し、公害防止に向けた啓発・指導を行います。	

都市・生活環境分野

環境目標
快適環境の構築



計画指標	2019 年度実績値	2030 年度目標値
都市・生活環境の住民満足度	29.9%	35%
施策		
〈9〉公園の整備	市民が身近に親しめる公園を整備し、既存公園の改修や協働による維持管理を行います。	
〈10〉農地の保全・活用	作物の生産や良好な景観の形成、生物の生息・生育といった多面的な役割を担う農地を保全するため、市民農園の利用を促進するとともに、環境に配慮した自然農法を奨励します。	
〈11〉環境美化の推進	ごみの散乱や不法投棄を防止するため、環境美化に対するモラルを向上し、美しいまちづくりを進めます。	
〈12〉景観の保全・整備	良好なまちの景観を形成するため、農地の保全や周囲と調和のとれた建物への誘導を図るとともに、景観を阻害するような違法看板などを撤去します。	

資源循環分野

環境目標
循環型社会の形成



計画指標	2018 年度実績値	2030 年度目標値
1 人 1 日当たりのごみ排出量（家庭部門）	673g/人・日	597g/人・日
ごみのリサイクル率	19.7%	24.7%
施策		
〈13〉ごみの発生抑制（Reduce）の推進	ごみの排出量を削減することは、市内から発生する温室効果ガスを削減することにもつながります。ごみの発生抑制を推進するため、市民・事業者に対して啓発・指導を行います。	
〈14〉ごみの再利用・再資源化（Reuse、Recycle）の推進	市民・事業者の自主的な資源回収の取組を支援するとともに、市全体でごみの再利用・再資源化（Reuse、Recycle）を推進します。	

環境目標
低炭素社会の構築



計画指標	2013 年度実績値	2030 年度目標値
市内の CO ₂ 排出量	1,262 千 t- CO ₂	933 千 t- CO ₂
人口 1 人当たりの CO ₂ 排出量	5.5 t- CO ₂	4.2 t- CO ₂
施策		
〈15〉省エネルギー・再生可能エネルギーの推進	CO ₂ 排出量の削減に向けて、日常的な省エネルギー活動を継続させつつ、家庭や事業所における省エネ診断、エコチューニング等の活用を促進するなど、地域全体で省エネルギー活動を実践していきます。市役所も一事業者として、「上尾市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、CO ₂ 排出量の削減に向けた取組を実施します。また、再生可能エネルギー等を積極的に活用していくことで、地球温暖化の防止と災害への備えを両立していきます。	
〈16〉地球温暖化への適応策の推進	これまでの温室効果ガスの発生抑制のための「緩和策」の一層の推進に加えて、地球温暖化による影響に対する「適応策」を講じていく必要があります。なかでも、本市での被害が懸念される地球温暖化による影響として、「熱中症」「ゲリラ豪雨等による浸水被害」などへの備えを推進していきます。	

環境づくり分野

環境目標
環境活動の活発化



計画指標	2019 年度実績値	2030 年度目標値
「環境活動に参加したい」と思う人の割合	2.3%	5%
施策		
〈17〉環境教育・環境学習の推進	子どもから大人まで全ての世代の環境意識の向上を目指し、環境について学ぶ機会を増やします。そのために、学校や地域などでの環境教育の推進を支援するとともに、次世代の環境活動をけん引する新たな人材の確保と育成を図ります。	
〈18〉協働による環境活動の推進	将来の上尾市、将来の地球の環境を守るためには、先人から受け継いできた誇るべき上尾市の環境を守り、育て、次世代へと継承していく必要があります。そのため、市民・事業者・行政がそれぞれ担う役割を認識し、その役割を果たしつつ、協働体制をより強固なものとする事で、十分な効果を発揮できるよう協働による環境活動の底上げを図っていきます。	

第3次上尾市環境基本計画 概要版（2021年3月）

発行・編集 上尾市 環境経済部 環境政策課
〒362-8501 埼玉県上尾市本町三丁目1番1号
TEL:048-775-6925
FAX:048-775-9872
E-Mail: s251000@city.ageo.lg.jp

ホームページ ▶

